



★教育目標★
とく し こう がく
篤志好学 思いやりをもち
すすんで学ぶ子

★重点目標★
一人一人の笑顔づくり
～自尊感情の育成～

◎自尊感情とは、「いろいろな欠点を認めつつ、自分をかけがえのない存在だと感じ、自信をもって前向きに生きていこうとする気持ち」を言います。

期待する
児童の姿

まなび

「進んで学び合う子」

- ・自分の考えを確かにし表現する
- ・共感的な態度で友達の話聞く
- ・自分の学びを振り返り、次の学びに生かす

いっしょ

「認め合い、支え合う子」

- ・自分や友達のよさが分かる
- ・相手の気持ちを考えた言動ができる
- ・よりよい学級・学校を創ろうとする

からだ

「健康づくりを進める子」

- ・基本的な生活習慣を身に付ける
- ・健康で、安全な生活について考える
- ・運動に親しみ、進んで体を動かす

実現に向けて実践すること

児童

- 友達の考えと同じところや違うところを活かして、自分の考えをもち、伝えます。
- 共感的な態度で友達の話最後まで聞きます。
- 振り返りから新たな次の課題を見つけます。

- 自分から進んであいさつをし、正しい言葉遣いをします。
- 自分も友達も大切に、相手の気持ちを考えて行動したり、優しい言葉掛け「ふわふわ言葉」をしたりします。
- 意欲的に学校行事や地域行事に参加したり、係活動や委員会活動に取り組んだりします。

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践したり、好き嫌いなく給食を食べたりします。
- メディア(SNS)に関する約束を家庭で決め、守ります。
- 体育の時間や休み時間に進んで体を動かします。

保護者
地域

- 子どもの話を、しっかりと聞きます。
- 学校での学びや家庭学習を「見守る」「褒める」「認める」ことに努めます。
- 子どもが安心して学習に取り組める環境づくりに努めます。

- 子どものお手本となるあいさつや言葉遣いに努めます。
- 家庭での親子の会話や一緒に過ごす時間を大切にします。
- 町内の行事に進んで参加します。

- メディア(SNS)に関する約束を家庭で話し合うなどして決め、子どもがネットトラブルに巻き込まれないように見守ります。
- 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の定着や清潔習慣(手洗い・うがい・ハンカチ携帯・歯みがき)が身に付くよう声掛けを行います。

教職員

- 多様な考えが生まれるように、学び合いが生まれる授業づくりをします。
- 共感的に聞き合うスキルを確実に身に付けられるようにします。
- 振り返りの場を意図的に設定し、学びが広がる授業を展開します。

- 一人一人のよさを生かした学級づくりを進めます。学習の場面で認め合いを深め、互いを認め合える場を設定します。
- 他学年や地域の子どもなど多様な人と関わる中で、自己の態度や言動を振り返る場を設定します。
- 縦割り班活動や学級活動、委員会活動などで子どもが個性を生かして活躍できる場を設定します。

- 学級活動や給食の時間など、学校教育全体で取り組めます。
- 学校保健委員会や南上越市健康週間などを活用して健康三原則(食・睡眠・運動)やメディア(SNS)との関わり方の指導を行います。
- 子どもが運動に親しみ、体力を伸ばすように、楽しく運動する機会をつくります。

◎学校運営協議会

連携

幼稚園、保育園、
中学校との連携

家庭・地域との連携

- ・城西中学校区子どもを育てる会・校区青少年健全育成協議会
- ・読み聞かせボランティア・学校保健委員会
- ・青田川を愛する会・南三世代交流プラザ運営協議会
- ・南本町小学校区まちづくり協議会

専門機関との連携

- ・学校訪問カウンセラー・児童相談所
- ・こども家庭センター
- ・その他

＜城西中学校区求める子どもの姿＞

- ①自己理解・・・周囲との関わりの中で、自分への自信をもつ
- ②相互理解・・・互いに認め合い、適切に関わろうとする態度を身に付ける
- ③学習習慣・・・学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む